

仕事を楽しめれば人生も楽しい

特集 ワインの新常識

3  
2018

800  
yen

2018年3月1日発行/毎月1回1日発行/第13巻第3号/通巻144号

【ゲーテ】

特集

プレミアムワインの  
新常識

現代アート驚愕連載

Anish Kapoor

アニッシュ・カプーア

綾瀬はるか

想像力を  
ふくらませて味わう

あなたは  
ワインを語れますか？

独占取材

錦織 圭

復活への決意



Q1  
勝負をかけた商談の場で開けたい1本は?

A  
ペリエ・ジュエ  
ベル・エポック  
2011  
約¥22,000

200年の歴史を誇り、イギリス王室や世界中のセレブたちに愛されるペリエ・ジュエ。「昨年、このメゾンからシュヴァリエの上位であるオフシエ(将校)の称号をいただいたこともあり、大切な商談でぜひ開けたい!」



Q2  
ワイン通を唸らせたい時に出す1本は?

A  
ウニコ・ゼロ  
スレイト・ファーム  
フィアーノ  
2016  
約¥5,000

イタリア系の白ブドウであるフィアーノを使用した、オーストラリア産のナチュラルワイン。「味がいいのはもちろん、ラベルがとても可愛くて素敵。ちょっとマニアックですが、知る人ぞ知る1本です」



Q3  
ゲストに振る舞いたい1本は?

A  
アルマン・ド・ブリニャック・ブリュット  
約¥44,000

世界的に有名な評論家やソムリエなどが評価する「100 Best Champagnes For 2010」にて、世界ランキング1位を獲得して話題となった。「黄金に輝くボトルは見た目のインパクトが抜群。これを出すと必ず場が盛り上がります」

ダイニング  
アンドスタイル  
代表取締役  
山本侑貴子  
Yukiko Yamamoto

外資系金融機関を経て、2006年にダイニングアンドスタイルを設立。食空間プロデューサーとして店舗プロデュース、コンサルティングなど幅広く活躍し、新しいライフスタイルを提言している。

ワインの消費量は?  
週に4~5本

好きなワインの傾向は?  
シャルドネ、ピノ・ノワール



Q1  
ゲストに振る舞いたい1本は?

A  
コングスガード  
シャルドネ  
ナバ・ヴァレー  
2015  
約¥18,000 (参考上代)

ナバ・ヴァレーで最も尊敬を集めるジョン・コングスガード氏の作品。「週に2~3回ワイン会を開くのですが、最初の1本がその会のレベルを決める。初めからトップギアでもてなすのが礼儀。ぜひこれを出したいです」



Q2  
自分へのご褒美として飲む1本は?

A  
ルイス・セラーズ  
カベルネ・ソーヴィニヨン  
ナバ・ヴァレー2015  
約¥16,000 (参考上代)

ルイス・セラーズは元プロレーサーのランディ・ルイス氏がオーナーのワイナリーで、華々しい香りや果実味が特徴。「2013年ビンテージは、'16年にワイン・スペクテイター誌のワインランキングで世界一に選ばれました」



Q3  
素敵な女性と一緒にいる時に飲みたい1本は?

A  
ハーラン・エステート  
レッドワイン  
ナバ・ヴァレー  
2013  
※写真は2009  
約¥170,000 (参考上代)

世界で最も有名なワイン評論家ロバート・パーカー氏によるワイン評価法で、100点満点を5度も獲得している傑作。「この芸術品をもってしても恋が成就できなければ、それはそれで諦めがつくというものです(笑)」

中川ワイン  
代表取締役社長  
中川誠一郎  
Seiichiro Nakagawa

1963年生まれ。慶應義塾大学、コーネル大学院を卒業。東京銀行、世界銀行を経て中川ワイン代表取締役。カリフォルニアワインの目利きとしてカルトから最新レアワインまでを発掘し、日本に紹介している。

ワインの消費量は?  
仲間と週に50本

好きなワインの傾向は?  
しっかりとした白、バランスが取れた赤



Q1  
自分へのご褒美として飲む1本は?

A  
シャンポール・ミュージニエ2002  
ドメヌ・ジョルジュ・ルーミエ  
約¥18,000

数あるブルゴーニュドメヌのなかで、規模は小さいながらも絶大な人気を誇るのがジョルジュ・ルーミエ。「家で寛ぎながら飲むなら村名クラス。ブルゴーニュで最初に美味しいと思ったのが、この生産者の1980年でした」



Q2  
ゲストに振る舞いたい1本は?

A  
ロイマー  
エクストラ・ブリュット  
2014  
約¥5,000

造り手はオーストリアが世界に誇る天才醸造家、フレッド・ロイマー氏。「フルーティかつエレガントな、誰からも好かれる味だと思います。ラベルデザインも品がよく、安っぽさがないところもポイントが高いです」



Q3  
最近購入したなかでお気に入りの1本は?

A  
アタラクシア  
シャルドネ  
2015  
約¥5,000

ニューワールドと呼ばれる新興ワイン国のひとつが南アフリカ。「コント・ラフォン(ムルソーのトップ生産者)を思わせる風味」という売り口上どおりで驚いた。南アフリカでもワイン革命が起こっていることを実感」

ワインコレクター  
長澤 潔  
Kiyoshi Nagasawa

1955年生まれ。「ワイン王国」第28号(2005年9月号)から第36号(2007年1月号)まで「不埒な(ブラチナ)ワイン会」を連載。所有ワインは約800本で、生きている内に飲みきろうと現在消費中。

ワインの消費量は?  
週に2~3本

好きなワインの傾向は?  
ブルゴーニュ、シャンパーニュ



Q1  
生涯の最後に飲みたい宝物の1本は?

A  
ラ・ロマネ1953  
ルロフ  
価格算定不能

ブルゴーニュでも別格の品格と存在感を放つ名門ルロフ。「2本購入して1本を飲んだが、これまでに飲んだワインのなかで最高の気配を感じました。おそらく世界で10本も残っておらず、もう手に入ることはないでしょう」



Q2  
素敵な女性と一緒にいる時に飲みたい1本は?

A  
ル・パン  
2000  
約¥730,000

1982年がファーストビンテージという若いシャトー。年間の生産数が非常に少なく、ボルドーで最も希少なワインのひとつ。「女性が最も好きな、エレガントで甘美な、そして官能的なワインがル・パンだと思います」



Q3  
ゲストに振る舞いたい1本は?

A  
マーカッシン  
ピノ・ノワール  
マーカッシン・ヴィンヤード2002  
約¥60,000

カレラやビーター・マイケルなど群雄割拠のカリフォルニア、ピノ・ノワールの最高峰とされ、そのなかのベスト・ビンテージ。「香りはもちろん、味がいいのがアメリカ的。例えるなら、マツタケでなくシメジのようなワイン」

精神科医  
和田秀樹  
Hideki Wado

1960年生まれ。東京大学医学部卒業後、カール・メンガー精神医学国際フェロウ等を経て、和田秀樹ことと体のクリニック院長。数多くの著書があり、近著に「もう怒らないレッスン」(幻冬舎文庫)。

ワインの消費量は?  
平均週5本

好きなワインの傾向は?  
ナバのカベルネ・ソーヴィニヨン



Q1  
自分へのご褒美として飲む1本は?

A  
ブルネッロ・ディ・モンタルチーノ  
リゼルバ1961  
ピオンディ・サンティ  
約¥65,000

パローロやバルバレスコと並び、イタリア3大赤ワインと称される。ブルネッロ種というブドウを使用し、濃密で個性的な香りを持つ。「トスカーナのなかでブルネッロを飲むなら、これが一番美味しいと感じます」



Q2  
勝負をかけた商談の場で開けたい1本は?

A  
ベトリュス  
1997  
約¥260,000

世界で最も有名な赤ワインのひとつ。「ベトリュスはエリザベス2世の即位式にバッキンガム宮殿に献上されています。自分もビジネス上の大きな契約や資本提携の際に、パートナーやクライアントと一緒に飲みたい」



Q3  
素敵な女性と一緒にいる時に飲みたい1本は?

A  
シャトー・オー・プリオン  
1999  
※写真は2010  
約¥46,000

唯一メドック地区以外から5大シャトーに選ばれた、ボルドー最古の歴史を誇るシャトー。「女性は女性でも、娘のために買ったワイン。1999年生まれなので、20歳になった時にプレゼントしようと思っています」

花キュービッド  
取締役社長  
吉川 登  
Noboru Yoshikawa

1965年生まれ。総合商社やITベンチャーを経て2004年、動画などの処理技術を提供するリミックスポイントを創業し、'06年に東証マザーズ上場。'15年に花キュービッド常務取締役就任し、'16年より現職。

ワインの消費量は?  
週に3本程度

好きなワインの傾向は?  
すべて好き



Q1  
最近購入したなかでお気に入りの1本は?

A  
ムルソー・ルージュ  
2013  
ティエリー・エ・バスカル・マトロ  
約¥6,000

ムルソーの白ワインはわずと知れた名酒だが、ドメヌ・マトロは果実味が豊富で親しみやすい秀逸な赤ワインも手がける。「高価というわけではないですが、希少だし、面白いという点で持っていて楽しい」



Q2  
素敵な女性と一緒にいる時に飲みたい1本は?

A  
シャブリ・ブルミエ・クリュ・レ・ヴァイオン2015  
ダニエル・ダンブ  
約¥5,000

シャブリ地区はブルゴーニュ最北端のワイン産地。一般的なシャブリワインの多くは木樽ではなくステンレス樽で発酵される。「口当たりのいい白で、爽やかさと軽さを楽しんでもらう。赤に負けない豊かな香りも魅力」



Q3  
自分へのご褒美として飲む1本は?

A  
ヴォーヌ・ロマネ  
2014  
ジャン・グリヴォ  
約¥11,000

「神に愛された村」とも称えられ、熱狂的なファンを有するヴォーヌ・ロマネ。「いろいろ飲んだけれど、やっぱりブルゴーニュが一番リラックスできる。とてもラグジュアリーな空間にいる気分になれるから」

ピアニスト  
清塚信也  
Shinya Kiyozuka

1982年生まれ。TBS系金曜ドラマ「コウノドリ」でピアノテーマや監修を手がけ、5月に開幕する舞台「シラノ・ド・ベルジュラック」では劇中音楽を担当する。詳しくはwww.tohostage.com/cyrano/まで。

ワインの消費量は?  
多い時は週に2本

好きなワインの傾向は?  
ブルゴーニュ